

**鉄道業界初！埼玉県初（※）！「飯能・西武の森」が、
公益財団法人 都市緑化機構の社会・環境貢献緑地評価システム
SEGES（シージェス）の最高位を獲得いたしました！**

西武鉄道株式会社（所在地：埼玉県所沢市、社長：若林 久）では、社会貢献活動の一環として行っている「飯能・西武の森」（埼玉県飯能市）の緑化活動が、公益財団法人都市緑化機構が2005年から運営している、企業などの緑の保全・創出活動による社会や環境への貢献度を評価・認定するシステムである SEGES（シージェス＝Social and Environmental Green Evaluation System）において、5段階評価における最高位である「Superlative Stage（スプラティブ ステージ）」の認定を受けました。

最高位である「Superlative Stage（スプラティブ ステージ）」は、その前段階である Excellent Stage 3（エクセレントステージ 3）に6年間継続して認定された後に取得できるもので、この最高位に認定されるのは鉄道業界および埼玉県（※）では初めてです。

西武鉄道では、今後も「飯能・西武の森」を中心とした環境保全活動に取り組んでまいります。

詳細は、別紙のとおりです。

（※）今回、埼玉県では西武鉄道と同時に立正大学熊谷キャンパスも Superlative Stage が認定されます。



（写真：多峯主山から望む「飯能・西武の森」）

【別紙】

・「飯能・西武の森」について

当社は、埼玉県飯能市内に所有する山林を、2008年より「飯能・西武の森」と名付け、生物多様性に配慮した森づくりを行っております。

「飯能・西武の森」は飯能市街地に隣接し、東西が約1.8km、南北が約1km、天覧山・多峯主山間（山頂間約1,100m）の間に広がる、標高130～230m前後のなだらかな丘陵地で、その広さは約130ha（西武ドーム約30個分）にも及びます。

植生は概ねクスギ・コナラ群集とスギ・ヒノキ植林の豊かな自然環境を有しています。森の中には植物学者の故牧野富太郎博士が発見し、埼玉県指定天然記念物に指定されている「ハンノウササ」の群生地や、沢筋には近年貴重種となってきた「トウキョウサンショウウオ」、「ゲンジ・ヘイケボタル」等の生息地があります。また尾根筋には奥武蔵遊歩道が整備され、飯能市民のみならず、西武線沿線内外の方々にハイキングや森林浴等で広く楽しめる里山となっております。

森づくりに先立ち当社は1997年、飯能市の環境保全条例に基づき32haの「景観緑地」の指定を受け、その後順次拡張し2013年には合計86haにおよぶ景観緑地指定地が誕生し、天覧山・多峯主山一帯の自然環境の保全に努めています。

・社会・環境貢献緑地評価システム（シージェス）について

（SEGES=Social and Environmental Green Evaluation System）

緑を守り育てる活動を通じて、社会や環境に貢献している企業等の緑地を対象に、特に優れた取り組みを公益財団法人都市緑化機構が評価・認定する制度です。



（図：SEGES 5段階の認定ラベル）

公益財団法人 都市緑化機構 URL:<https://urbangreen.or.jp>

社会・環境貢献緑地評価システム（SEGES） URL:<https://seg.es.jp/>

◇お客さまのお問合せ先

西武鉄道お客さまセンター TEL. (04) 2996-2888

音声ガイドのご案内により、メニューをお選びください。

[営業時間：平日9時～19時 土休日9時～17時]

以上